

伊達な旅ガイド

Vol.396

笑顔咲きたび  伊達な旅
仙台 Sendai & Miyagi, where smiles blossom 宮城



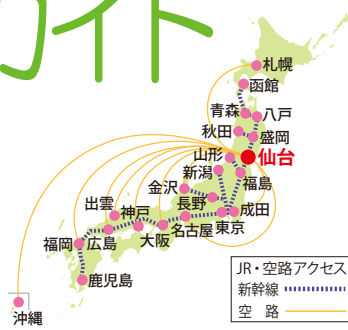
伊達な旅紀行

いいトコ!
みやぎ

毎週月曜日
22:54~23:00
BS-TBSにて大好評放送中



仙台・宮城
観光PRキャラクター
むすび丸



2020年
10月19日
放送

養蚕のまち・丸森で繭細工体験



シルクの町といわれた丸森町。皆さんも丸森町でシルク和紙や繭細工の魅力に触れてみてはいかがでしょうか。

シルクの町

養蚕農家 佐藤 靖さん

「私は5代目で明治時代から蚕を育てています。蚕は生まれておよそ25日ほどで繭を作り始めます。先着がいたところには蚕は入らないので、自分で探します。例えば空いている所に入れたとしても、違うなと思ったら出てきてまた別の場所を探します」



繭を作る上族しつ室。繭を作るのは、この回転まぶしの棚の中。作る場所は蚕が自分で決めるそうです。

ほ〜とといっぷく陽だまり工房

Tel.0224-75-2852

指人形



花のコサージュ



体験する!

まゆ細工体験
(土・日・祝のみ)



蔵の郷土館 齋理屋敷

Tel.0224-72-6636

江戸時代後期から栄えた豪商・齋藤理助さんの屋敷。今では改装して「蔵の郷土館」として公開しています。



奥の部屋には、シルク和紙を使った裃絵が展示されています。

体験する!

シルク和紙づくり体験

月1回、定期的に行っています。



安島 陽子さん

「繭細工は繭そのものを見て作るので、初めて繭を見て驚く方もいらっしゃいます。すごく柔らかい丸みをしているので癒やされます。養蚕、繭は丸森の宝だと思うので永遠に続いてほしいと思います」



館長 佐藤 勝栄さん

「大作の裃絵です。桜の花びらは、シルク和紙で表現されています」

